

広報
2025
6月号

皐ヶ丘

発行 皐ヶ丘自治会
皐ヶ丘 3 丁目 142 番地
電話/FAX 64-2834
Email stkjichi@ma.ctl.ne.jp
皐ヶ丘自治会ホームページ
<http://www.ctl.ne.jp/~stkjichi/>

2025年 春の花いっぱい運動 開催

5月11日(日)には、春の花いっぱい運動に多数の住民の皆様にご参加を頂き、ありがとうございました。当日は「雨模様」の予報もあり心配でしたが、明けてみれば素晴らしい晴天に思わず「オー！」と雄叫びを上げるほどの好天に恵まれました。参加者数は昨年より36人増え1,329人に、参加率も81.3%と0.8%高くなりました。一重に住民の皆様のご理解と、ご協力によるものと思います。

改善すべき点など、色々あろうかと思いますが、一つずつ解決してより多くの皆様に参加していただき、より良い住環境を作っていきたいと思っています。

皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

本日はありがとうございました！ お疲れさまでした！



桜ヶ丘ハイツ夏まつり

2025年8月2日(土)

雨天の場合は 3日(日)

16:00~21:00 開催予定

みんなで参加! みんなで歌おう! みんなで踊ろう!

みんなで一緒に 楽しもう?

来る8月2日(土)(雨天の場合 8月3日(日))に桜ヶ丘地区センター駐車場において3自治会(桜ヶ丘、皐ヶ丘、桂ヶ丘自治会)合同にて『桜ヶ丘ハイツ夏祭り』を開催する運びとなりました。今を過ごしている子どもたちのために、素晴らしい思い出作りの場として、イベント・出店・抽選会・盆踊りなど盛りたくさん催しで笑顔いっぱいの夏まつりを開催いたします。

皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

44期総会での自治会員の要望事項につきまして

要望事項 ; 多治見市は、補助金にて東鉄バス多治見駅・桜ヶ丘1丁目バス停間を平日10時から16時の間は一律200円で乗車できるが、可児市も同様な補助をしていただけないでしょうか?

結 果 ; 4月26日土曜日の桜ヶ丘ハイツ自治連合会にて、可児市に対して要望を出しましたが、多治見市の補助金制度が令和6年9月30日にて廃止になったとのことでした。従いまして、可児市への要望は取り下げさせていただきました。

日本赤十字社・社会福祉協議会 募金のお願い

日本赤十字社では国内外の災害時の支援活動、献血、赤十字病院の運営、発展途上国への開発援助活動を積極的に行っています。社会福祉協議会は、地域福祉の充実を目的としてボランティアの育成、福祉用具の貸し出し、高齢者等が集うふれあいサロン、ゴミ出しなどの支え合い、移動支援等を行っています。皆様の御参加・御協力をお願いします。

草刈り倶楽部 初心者講習会 開催 2025 年 4 月 26 日



今年度4月より桜ヶ丘自治会にて、無償ボランティアの『草刈り倶楽部』が発足しました。メンバー登録頂いた方は、既に 30 名以上になっています。その本格活動を前に、4 月 26 日(土)に草刈機の安全講習会を開催しました。草刈機(チップソー刈払機、四輪自走式、等)に不慣れな方を対象として、14 名のメンバーに参加頂きました。

この活動において、『安全』は最重要事項です。講習当日は、草刈り時の安全な服装に始まり、機器の操作方法、周りとの距離の置き方、等のポイントを皆で確認しました。その後実際に地区センター西側バス道を試し刈りしました。

5 月以降、草刈り倶楽部は 3 グループ(1～5 丁目、6～7 丁目、8～9 丁目)に分かれて、それぞれの地区を草刈り活動していきます。

皆様のご協力をお願い申し上げます。引き続きメンバー募集中です！

皆様の御参加をお待ちしています！

軽スポーツ体験会を開催します！

会場：桜ヶ丘地区センター体育室

ワンバウンドバレー & ボッチャ

令和 7 年 6 月 15 日(日) 9 時～12 時

持ち物：体育館シューズ

参加者全員に参加賞あり！ 体験会へレッツゴー！

主催：桜ヶ丘地区体育振興会

『歴史風土記』をご愛読いただきありがとうございます。
5月号では紙面の都合にてお休みさせて頂きました、お詫び申し上げます。
齊藤千勝さんのご協力の下、令和7年度、第1回は「兼山の街」とさせていただきます。

皐ヶ丘周辺の 歴史風土記 第1回

齊藤 千勝

桃山時代から江戸初期にかけて、兼山村が大いに発展しました。城下町の形成は天文6年(1537)年、齊藤正義が烏峰城を築城して当時中井戸邑を金山邑と改めたのに始まります。天文17年(1548)齊藤氏が滅び永禄8年(1565)森可成が入城し、同11年(1568)織田信長が京都上洛の時、当時兼山湊の船問屋福井治郎左衛門由緒記によると、木曾谷から多数の「ふき板、こけら板、天井板、桶木取、おしき板、まえばだ檜皮等を木曾路宿々の人馬でつけ登らせ、大坂行きは桑名まで、京都行きは西美穂大垣から、すぐ横曽根まで金山湊から積下げ申候」とあって木曾路から中山道御嵩宿を経て木曾川を兼山湊から積下げられています。信長は元亀3年(1572)尾張国清州の商人伊藤惣十郎を尾張、美濃両国の商売司としました。商売司とは商売全般に亘るのではなく唐人方(輸入品)並びに呉服方(国産品)についてのもののようです。後に伊藤家は織田家、豊臣家、松平家からも印判状を与えられており伊藤惣十郎は清須越しと共に名古屋に移り、いとう呉服屋となります。こうして天正初年には金山は城下町らしい商家が存在し、城下町経営は大名の中心的仕事となります。森長可は金山村に三と七の日即ち毎月6回開かれる「六斎の市」を許可して物資の交流を計りました。魚屋町を塩、海魚の専売市場とし、下町(常盤町)に諸商人を集中させ、武具、酒屋、呉服屋その他の商店街とし渡り町は船着場である湊の町としここを免租地としました。古町は諸職人を集中して住ませ、こうして兼山は当地第一の商業都市となり、「兼山に行けば何でも揃う町」になりました。



次回の話は信長です

広報部からのお願い

「広報 皐ヶ丘」は毎月約1,300世帯に読まれています。会員の皆様からの掲載したい情報・記事・写真などを募集しています。是非、タイトル右のEmailアドレス宛、ご投稿ください。住所、氏名、タイトルをご記入の上、匿名をご希望の場合は、その旨を明記して下さい。情報、記事、写真等は、Wordで添付ファイルにして頂けるとありがたいです。締め切りは毎月10日です。なお、原稿は審査をさせていただきます。

皆様の、ご投稿をお待ちしています。